

全国初

公立小中高一貫教育校

東京都立立川国際 中等教育学校附属小学校

TOKYO METROPOLITAN P-12 SCHOOL

School Guide 2022

Be a Pioneer.

開拓者たれ

令和4年(2022年)4月

東京都立川市に開校

開拓者となって共に歴史と伝統を



▲挨拶ページです。



校長 市村 裕子
いちむら ゆうこ

これから しょうがくせいになる みなさん こんにちは。
わたしたちは あたらしい がっこうをつくっています。
わたしたちは はるに であい ひとつの ちいむに なりました。
はる なつ あき ふゆの きせつが すぎて また はるが
くると わたしたちの がっこうが はじまります。
そのとき がっこうには まなぶみなさんも います。
こんどは まなぶみなさんと わたしたちが ひとつの
ちいむに なって いっしょに がっこうを おおきくして いきます。
それは まっしろな ゆきの うえを はじめて あるく ように わくわくする ことです。



わたしたちの がっこうで まなぶひとに なって いっしょに あたらしい ことに ちょうせん しませんか。
ごうは みなさんと みなさんの まわりのひとの しあわせです。
みなさんにおあいする ひを たのしみにして います。



私たちの教育の究極の目的は「自立」です。

下の図に示している教育理念は、私たちの学校の存在意義であり、目指す教育の理想です。その理想を達成するために必要な教育内容や教育方法を、目標から俯瞰して設計しています。私たちは、「小学校」ではなく、「12年間一貫教育校における小学校段階」を創っています。

本校で学ぶお子様には、人格を陶冶し、自立した学習者となって、勇気をもって道を切り拓き、広い世界へ羽ばたいてほしいと考えています。本校で身に付けた資質・能力を思う存分に発揮して、よりよい世界の構築に貢献してほしいと期待しています。私たちも常に学び、全力でお子様と関わります。

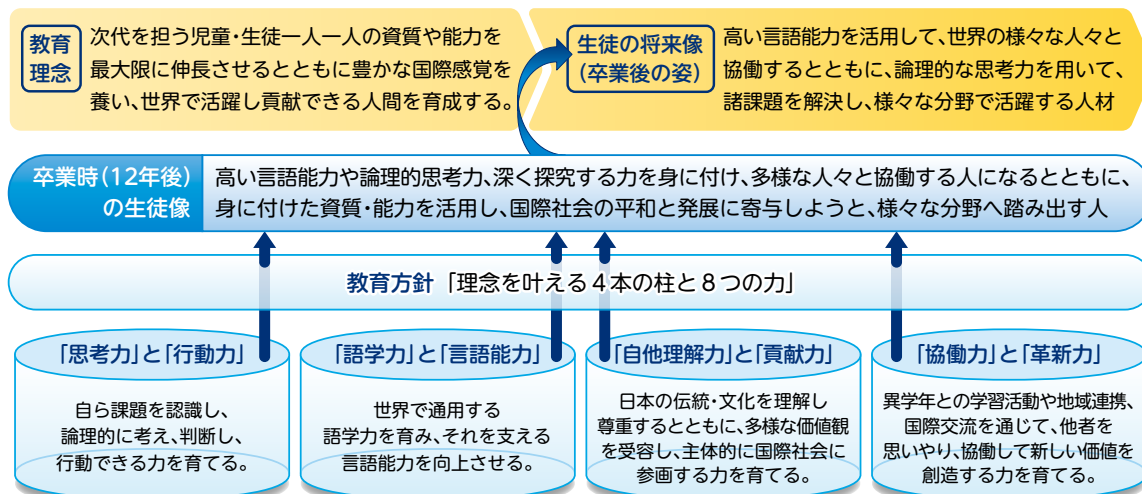
私たちの学校は歴史と伝統をつくっていく学校です。

私たちの学校は、お子様と保護者の方と共に「学びの共同体(PLC: Professional Learning Community)」となって、本校の歴史と伝統を一緒につくっていく学校であり、お子様も保護者の方もパイオニアです。完成された学校にあるものが本校にはまだないかもしれません。しかし、私たちの学校には、挑戦し創造していく喜びと感動があります。それはかけがえのない貴重な経験です。挑戦し創造することに意義を感じ、私たちと共に楽しみながら道を切り拓いていただけのお子様と保護者の方をお待ちしています。



▲令和3年度のチームです。新たに2名加わりました。
校長の隣が副校長、後ろの中央二人が主幹教諭、
左右の二人が主任教諭です。

私たちの目指す学校



P-12 GRAND DESIGN

— 小中高一貫教育のグランドデザイン(教育の全体構想) —

Be brave. Reach for the world.

目指すべき生徒像(卒業20年後の生徒の姿)

高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、様々な分野で活躍する人材

目指すべき生徒像(12年後の生徒の姿)

高い言語能力や論理的思考力、深く探究する力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、国際社会の平和と発展に寄与しようと、様々な分野へ踏み出す人

目指すべき児童像(6年後の児童の姿)

基礎的・基本的な言語能力や論理的思考力、探究的に学ぶ力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、世界を視野に入れ、社会の平和と発展に寄与しようと、地域社会の活動に参画する人

国語

社会

算数

理科

生活

音楽

図画工作

家庭

体育

英語

特別の教科

道徳

総合的な学習の時間

特別活動

各教科等における目指す児童像

探究的な学び

3 学びに向かう力、人間性等

- ①思考のプロセスを客観的に捉える力(メタ認知)
- ②多様な人々と協働する力
- ③人や社会に貢献する行動力
- ④自立した学習者となるための自己管理能力

語学力とそれを支える言語能力

1 知識及び技能

- ①教科・領域における幅広い知識・技能
- ②概念の理解と技能の熟達を支える言語能力
- ③論理的に考えるための方法

育成すべき資質・能力

2 思考力、判断力、表現力等

- ①批判的な見方を働かせて、情報を吟味し、考える力
- ②知識を関連付け、根拠に基づいて探究する力
- ③日本語と英語を活用して発信する力

学びを实践する学校行事

多様な外部機関との連携

グローバルに考えるキャリア教育・進路指導

自立を促す生活指導

グローバル:地球規模の視野と地域の視点で考え行動すること



教育課程

※現在の予定です。変更となる場合があります。

概要

小学校、中学校、高等学校段階をそれぞれ円滑に接続し、発展させるために教育内容の節目を工夫して論理的思考力を高めるとともに、異学年や異文化経験者等と交流し、国内外で様々な体験活動を行います。

【一貫教育の考え方】12年間を3フェーズでつないで「目指す生徒像」へと成長します。



▲第7学年から、新たな仲間が加わり、1学年160名のチームになります。「芽吹き」、「花開く」ために、この「耕す」期間が重要です。

(小学校段階) 第1学年～第6学年	基礎学力の定着の徹底と 個々の児童の特性に応じた指導 ①論理的に思考する力 ②身近な事柄について、 外国語で簡単なやり取りができる力 ③身近な人々と協働することができる力 ④体験から課題を見いだす力	育てたい力	幅広い教養を活用し、生徒自らが将来の夢に向けて個性と能力を発揮できる指導 ①批判的に吟味する力 ②幅広い話題について、外国語で 明確かつ確に考えを表現できる力 ③多様な人々と協働することができる力 ④体験を踏まえて省察する力	(中学校・高等学校段階) 第7学年～第12学年
	➔			

3つの特色

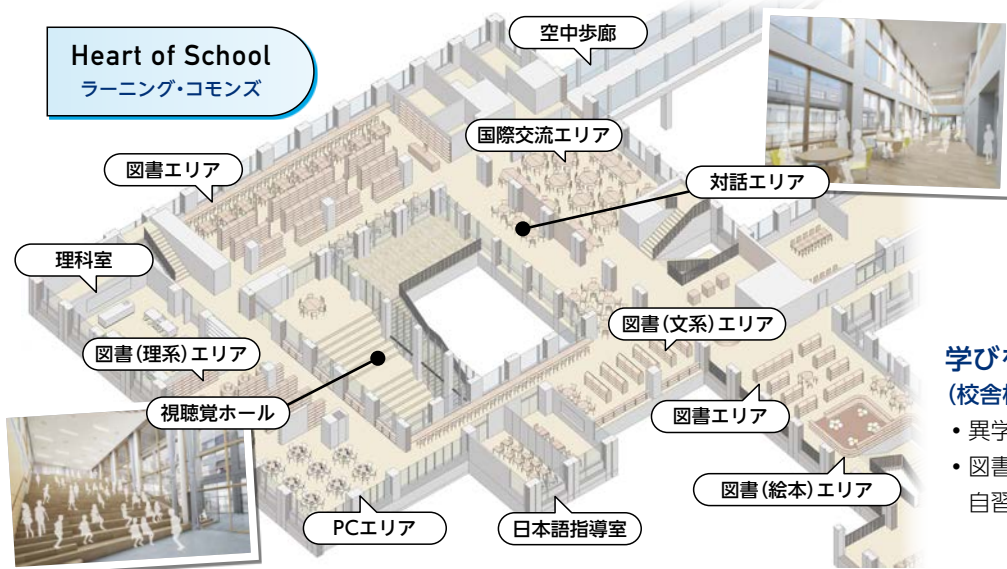
【特色1】探究的な学び

考える方法を知り、根拠に基づいて思考する力の向上
教科等における探究的な学びと独自の探究プログラムの実施

【探究プログラム:IBL探究12】 IBL: 探究学習 (Inquiry-Based Learning)



小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
・体験から「なぜ」を発見 →リサーチクエスト(RQ)の基礎作り			・RQの基礎作り、検討、設定 ・「自然科学」「人文社会」の両分野について探究的な学びを実践 →探究的な学びのプロセスの体験			・人間の在り方 生き方を探究 ・国内の課題を探究 ・世界の課題を探究 →LAPで実践		・国内外で発信 ・進路実現に活用			
「考える技」、「調べる技」、「表現する技」等の学び(初級→中級→上級)								日本語・英語で論文作成			



LAP:
リーダーシップ・アクションプログラム
全員が海外で研究、インターンシップ、ボランティア等の活動に参加します(国内研修と成果発表を含めて3か月程度実施予定)。

学びを充実させる施設の一例 (校舎棟北館2階)

- ・異学年での交流活動や探究的な学びの拠点
- ・図書室、パソコン室、視聴覚室、自習室等の機能を一体化させた施設

※イラストはイメージです。

【教科等における探究的な学び】

日常における各教科等の学習においても、次のように探究的な学びを行います。

【学びの基本方針】(一例)

- ① 1単元をとおして1回は、探究のサイクル
「課題(RQ)の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現」を体験する。
- ② 授業の最後に「振り返り」を行う。
- ③ 授業の中で、**個人** → **協働** → **個人** というパターンで学習する。
- ④ 学習者は「なぜそう考えたのか」(根拠)を考えて説明する。
- ⑤ 他の人と意見を伝え合い、自分の考えを深める。 等

(③の例) 1年生算数

探究のサイクル	学習活動
課題(RQ)の設定	前時で作った図を使って、めあてを立てる。 ずをしきにあらわそう。
情報の収集	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">個人で思考</div> <div>立式する。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">協働で学び合い</div> <div>グループで式を発表し合う。</div> </div>
整理・分析	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">協働で学び合い</div> <div>グループで式の意味を考える。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">協働で学び合い</div> <div>全体で式の違いを確かめる。</div> </div>
まとめ・表現	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">個人で深化</div> <div>まとめを考えて書く。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">個人で深化</div> <div>適用問題に取り組む。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">個人で深化</div> <div>振り返りをする。</div> </div>

〈「IBL探究12」における「考える技」、「調べる技」、「表現する技」等について(初級の例)〉

学校生活において学習した方法を「考える技」、「調べる技」、「表現する技」等として整理し、様々な場面で日常的に活用することで、課題について論理的・批判的に考える力を身に付けます。

考える技

比べる

結ぶ

例える

分類する

⋮

調べる技

見る

聞く

触る

嗅ぐ

⋮

表現する技

話す

絵を描く

文を書く

グラフを使う

⋮

〈「調べる技」の活用例〉

- 1年生「生活科」では、植物に対して「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」等をして、体全体を使って観察の仕方を学びます。
- これを「調べる技」の1つとして整理することで、他教科でも何かを調べたい時に、学習者自身がその「技」に気が付き、活用できるようにしていきます。

【特色 2】語学力とそれを支える言語能力

世界で通用する語学力とそれを支える言語能力の向上



- 第1学年から週4時間の英語の授業を実施、義務教育の9年間で通常の学校より1000時間以上多く外国語を学習
- 英語を実践する機会や第二外国語にふれる機会として、東京都教育委員会のプログラムを活用

プログラム例

次世代リーダー育成道場

国内事前研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生等を支援するプログラム。このプログラムをとおして、世界を舞台に活躍する国際感覚豊かでたくましい若者を東京から輩出していくことを目的としている。



東京体験スクール

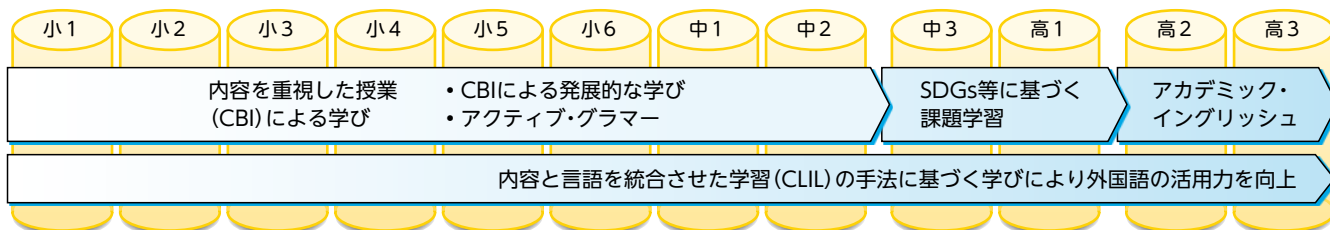
より多くの都立高等学校等において、在籍する生徒が日本にいながら国際交流機会を得られ、国際理解を深めることができるよう、海外からの留学生の受入拡大を推進している。

※「Tokyo Portal for International Education〈国際教育・東京ポータル〉」へのリンクです。「留学生の受入拡大」の頁をご覧ください。



※令和3年度現在のものであり、変更になる場合があります。

【語学力(外国語教育)】



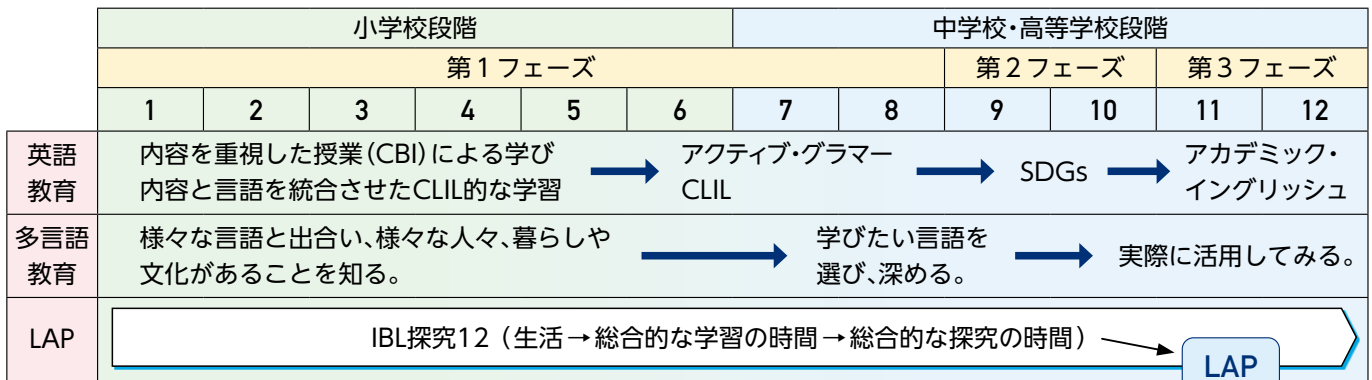
小学校段階						中学校・高等学校段階							
第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
短時間学習(Eタイム) ※全校種を通じて少人数や習熟度別の指導を工夫													
英語教育 <ul style="list-style-type: none"> ・専科教員や外国人指導者、JETプログラムを活用した授業 ・聞く・話すなど体感する授業から、読み・書きを取り入れた授業へ ・ICTの活用による海外姉妹校との交流 						<ul style="list-style-type: none"> ・英語によるプレゼンテーション 		<ul style="list-style-type: none"> ・英語によるディベートや論文の作成 					
多言語教育「マルチリンガルスタディⅠ」出会う <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動等で様々な言語と出合い、言語のおもしろさにふれる。 ・自分とは異なる人々、暮らしや文化があることを知る。 ・児童会やクラブ活動で学びの場を広げる。 						多言語教育「マルチリンガルスタディⅡ」深める <ul style="list-style-type: none"> ・マルチリンガルスタディⅠの学びを参考に、より知りたい言語を第二外国語として選択し、授業で深める。 ・様々な機会を捉えて実際に活用してみる。 							
《到達目標の目安》						英検3級レベル		英検準2級レベル		英検2級レベル		英検準1級レベル	

【言語能力】

小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
<ul style="list-style-type: none"> ・国語や生活を中心に主として体験と言葉をつなぐ活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数、理科を中心に主として論理的に文章を読んだり考えたりする活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数、理科を中心に主として多面的に追究する活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査、文献調査基礎 ・特別講師による指導、助言 ・理数分野等における発展的学習 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査、文献調査発展 ・特別講師による指導、助言 ・理数分野、人文社会分野における発展的学習 ・探究プログラムの企画、実行 		<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の発信(日本語・英語) ・論文作成(日本語・英語) 	

グローバルマインドセット・カリキュラム

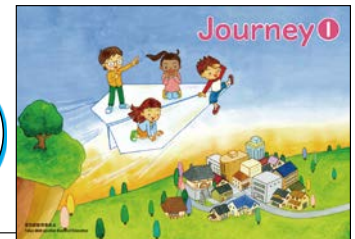
英語教育、マルチリンガルスタディ I・II、LAPの3つを相互に関連付け、グローバル人材としての素地を育成



〈英語教育(小学校段階)について〉

- 東京都教育委員会が本校用に作成したテキストを使用して、外国人指導者と共に、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の基礎から学びます。
 - ・初めは「聞くこと」を重視します。
 - ・音声に十分に慣れ親しんで「話すこと〔やり取り〕」に取り組みます。各ユニットの最後に「話すこと〔発表〕」活動を行います。
 - ・聞くことや話すことを通じて文字にふれ、「読むこと」につなげます。
 - ・「書くこと」は徐々に学びます。
- 週4時間の英語の授業の内1時間は、「Eタイム」として週3回(火・水・金曜日)、朝15分に分割して行います。
 - ・テキストを活用して復習(補充)や予習をします。
 - ・文部科学省や東京都教育委員会の教材、教科書、CD、絵本等も活用して発展的な学習をします。

CLIL的な学習ができるよう他教科等との関連を意識したテキスト(1年生)



Contents	
Unit 1	えがおがいっぱい Hello, I'm Seno.
Unit 2	はるを見つけたよ This is a red tulip.
Unit 3	生きものとなかよし I like ants.
Unit 4	えんぴつをかぞえよう How many pencils?
Unit 5	なつむかえるよ Do you like tomatoes?
Unit 6	空を見上げてみよう How is the weather?
Unit 7	あわせていくつかな Ten plus three is thirteen.
Unit 8	あきをあじわおう What do you want?
Unit 9	かぞく大好き I like my family.
Unit 10	ふゆをたのしく Let's spin a top.
Unit 11	学校はかせになろう What's this place?
Unit 12	わたしはだれ? Who am I?
Unit 13	できることがふえたよ I can dance.

▲表紙
イメージ

◀目次
イメージ

〈多言語教育「マルチリンガルスタディ I」出会うについて〉

中学校・高等学校段階で、自分の将来の生き方を視野に入れた言語選択や、言語や国に対する深い興味・関心に基づいた、積極的・主体的な言語選択につながるようにします。

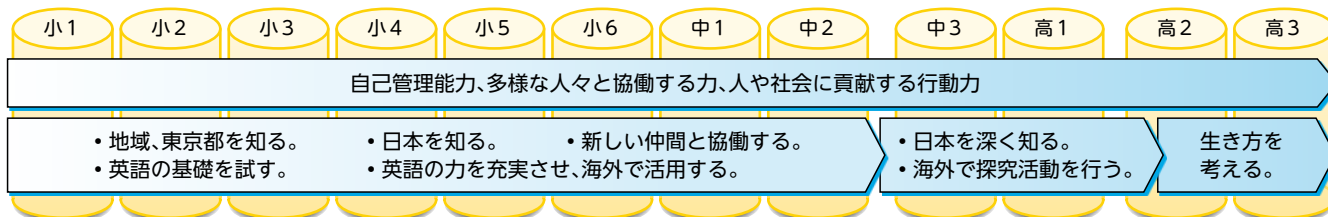
多摩地域の大学等と連携して、月ごとに6言語を学習(予定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	韓国語		中国語			ドイツ語	スペイン語	フランス語				アラビア語
1年生	【体験重視】遊び・スポーツ・(歌・ダンス)											
2年生	【体験重視】食生活 ※給食とコラボレーション											
3年生	【体験重視】衣服(民族衣装)・年中行事											
4年生	学校生活											
5年生	地理(自然)											
6年生	地理(産業)											

学年ごとに、教科等に関連したテーマを設定して学習します。

- 月1、2時間程度実施します。毎時間、挨拶を含み、国際理解とともにテーマに関連する音声言語と文字言語に出会います。
- 年1時間(8月か1月)、全校でその他の言語にふれあう機会を創出します。その際はテーマ(地域等)を決めて言語を選択し、必要に応じて本校の「チーム立国人材バンク」に登録した保護者の方にもご協力いただきます。

【特色3】学びを実践する学校行事

グランドデザインに基づく
学校行事の充実

小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ			第3フェーズ		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
スピーチコンテスト(日本語・英語)/プレゼンテーション大会(日本語・英語)/ディベート大会(日本語・英語)											
日本の伝統・文化教室(芸術理解教室・芸術鑑賞教室、体験、海外姉妹校への紹介) 異文化間交流											
地域の学校との継続的交流						海外留学生受入					
・入学式 ・生活科 見学	・生活科 見学 ・TGG 体験	・立川市内 見学 ・西多摩 宿泊体験	・島しょ 宿泊体験 ・社会科 見学	・農業体験 (田植え・ 稲刈り) ・林間学校 ・社会科 見学 ・国内 異文化 体験	・海外 姉妹校 訪問 ・社会科 見学 ・救命講習 ・百人一首 大会 ・立志式	・入学式 ・チーム 立国ゼミ ・TGG 体験	・校外学習 ・英語合宿 ・職場体験 ・救命講習 ・百人一首 大会	・校外学習 ・国内研修 旅行 ・前期課程 修了式	・海外調査 ・研究 (LAP) ・救命講習	・海外研修 旅行	・卒業式
《小中高全体行事》 体育祭(1学期) 文化祭(2学期) 音楽祭(3学期) 定期考査(各学期)											

グランドデザイン(2頁)「育成すべき資質・能力」との関係

生活科見学/社会科見学、立川市内見学、農業体験(田植え・稲刈り)、百人一首大会	2②
西多摩宿泊体験、島しょ宿泊体験、国内研修旅行、体育祭、文化祭、音楽祭	2②、 3②
芸術理解教室(小学校段階) →芸術鑑賞教室(中学校・高等学校段階)	1① →2②
救命講習	3③
林間学校	3④
チーム立国ゼミ、校外学習	3②
職場体験	3②③
スピーチコンテスト/プレゼンテーション大会/ディベート大会	2①③
TGG体験、国内異文化体験(宿泊)、海外姉妹校訪問、英語合宿、海外研修旅行	2③、 3②
LAP	2②③、 3②③

3 学びに向かう力、人間性等

- ①思考のプロセスを客観的に捉える力(メタ認知)
- ②多様な人々と協働する力
- ③人や社会に貢献する行動力
- ④自立した学習者となるための自己管理能力

1 知識及び技能

- ①教科・領域における幅広い知識・技能
- ②概念の理解と技能の熟達を支える言語能力
- ③論理的に考えるための方法

育成すべき
資質・能力2 思考力、判断力、
表現力等

- ①批判的な見方を働かせて、情報を吟味し、考える力
- ②知識を関連付け、根拠に基づいて探究する力
- ③日本語と英語を活用して発信する力

研修施設例

TGG: TOKYO GLOBAL GATEWAY

東京都教育委員会が開設した施設。児童・生徒が、外国人との会話や外国の文化等にふれる機会を増やし、英語を積極的に使う態度を身に付けられるよう、体験的で実践的な学習を行う場を提供。

※令和4年度中に、立川市内のGREEN SPRINGSにも開業予定



TGG



国内異文化体験施設

小学校の生活

【1年生の時間割(例)】

※時間等は変更になる場合があります。
 ※3学期制で、土曜授業を予定しています。
 ※土曜授業の日程は別途、定めます。

校時	月	火	水	木	金	土	
8:15~ 8:20	朝の会 (健康観察等)						
8:20~ 8:35	朝会	Eタイム	Eタイム	集会	Eタイム	-	
8:40~ 9:25	1	算数	国語	道徳	国語	英語	国語
9:35~10:20	2	国語	算数	国語	英語	体育	国語
10:30~11:15	3	体育	図工	体育	生活	算数	生活
11:25~12:10	4	英語	図工	音楽	生活	国語	生活
12:15~13:45	給食、昼休み、掃除						
13:55~14:40	5	音楽	国語	国語	算数	国語	
14:50~15:35	6	-	特活	-	-	-	
15:35~15:45	帰りの会 (個人発表活動等)						

ある日の給食(義務教育段階のみ)

※立川国際中等教育学校のメニューです。



〈和食〉

- ・赤飯
- ・鶏の照焼
- ・三色和え
- ・若竹汁
- ・パンケーキ
- ・牛乳

〈洋食〉

- ・ソフトフランスパン
- ・マーマレード
- ・タンドリーチキン
- ・ソテー
- ・パンプキンポタージュ
- ・いちご
- ・牛乳



〈各国料理〉

～モーリシャス～

- ・ビリヤニ
- ・モーリシャス風サラダ
- ・ルガイユ風スープ
- ・牛乳



栄養士さんと調理員さんが作る、おいしい自校給食です。
 明るいランチルームで「四季のにわ」を見ながらいただきます。



四季のにわ



ランチルーム



※イラストはイメージです。

▲給食は義務教育段階のみです。

【制服と制帽】

- 本校の教育理念をイメージする紺と緑を基調
- 生き生きと活動できるデザイン
- 校外においてもふさわしい身だしなみとなるデザイン



- ワイシャツ
- ネクタイ
- プレザー
- タータンチェックのハーフパンツ・キュロットスカート
- 制帽

【ランドセル】



- 色:黒色・無地
 - 形:「キューブ型」または「学習院型」
- ※A4フラットファイル対応サイズ

ご家庭でご準備いただきます。その他の条件は、本校ウェブサイトでご確認ください。

【経費(概算)】

	小学校段階(6年間)	中学校・高等学校段階(6年間)
入学科・授業料	なし	なし(中学校)／あり(高等学校)
宿泊行事費	約35万円	約90万円
教材費	約20万円	約60万円
給食費	約40万円	約20万円(中学校のみ)

※その他制服代等がかかります。

- 義務教育段階を対象とした就学援助は、区市町村教育委員会で行っています。詳細はお住いの区市町村にお問い合わせください。

- 第10学年からは、都立高等学校と同額の入学料と授業料、教科書代などがかります。就学支援金等の制度もあります。

※令和3年4月現在、都立高等学校の入学料5,650円、授業料118,800円(1年間)です。

学校施設

※イラストはイメージです。



中庭



教室



和室

入学者決定方法

概要

募集人員	<p>令和4年度小学1年生(2学級) ※2～6年生の募集はありません。</p> <p>※昨年の説明会等で80名と説明してきましたが、令和2年12月17日に文部科学省から学級編製の標準の引下げ(1学級35名)の方針が発表されたことを受け、現在、東京都で検討中です。令和3年5月末頃に公表予定です。</p> <p>※海外帰国児童・在京外国人児童も募集人員の内数で募集します。</p> <p>※学級編成は一般の児童と海外帰国児童・在京外国人児童との混合学級を予定しています。</p>
対象	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年4月に小学校第1学年の入学の学齢にある者 (平成27年4月2日から平成28年4月1日までに出生した者) ●指定した通学区域内に保護者とともに居住し、入学後も引き続き、指定した通学区域内から通学することが可能な者 <p>【通学区域】 新宿区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、練馬区、 八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、 小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、 清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、 瑞穂町、日の出町</p> <p>※該当区域内であっても、交通事情や体力等はお子様により異なることから、毎日無理なく安全に通学できるか否かについては、十分考慮ください。</p> <hr/> <p>◇海外帰国児童:日本国籍を有する者で、保護者とともに1年以上海外で生活し、入学日現在、帰国後1年以内の者</p> <p>◇在京外国人児童:外国籍を有する者で、入学日現在、入国後の在日期間が1年以内の者</p>
検査内容	<p>第1次(抽選):応募者が一定数を超えた場合のみ、抽選を実施する。</p> <p>第2次(検査):第1次通過者を対象に、適性検査を実施する。 学校が必要と考える一定の資質や能力をもつ者全員を通過者とする。</p> <p>第3次(抽選):第2次通過者を対象に、抽選を実施し、入学者を決定する。</p> <p>※海外帰国児童・在京外国人児童を対象とした検査は別日に実施します。</p>
出願書類	<ul style="list-style-type: none"> ◆入学願書 ◆住民票記載事項証明書 ※通学区域外に住所を有している場合は、入学時に通学区域に居住することが確認できる書類 ◆その他、入学者決定に必要なとする書類 <p>[海外帰国児童]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰国後の在住期間が入学日現在、1年以内であることを証明する公的機関発行の書類 ・保護者とともに1年以上海外に在住していたことを証明する書類 <p>※海外在住証明書(保護者の勤務先企業代表者が証明する書類等)</p> <p>[在京外国人児童]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍を有していることを証明する公的機関発行の書類 ・入国後の在日期間が入学日現在、1年以内であることを証明する公的機関発行の書類
出願・検査・発表日	<p>令和3年秋頃実施予定(海外帰国児童・在京外国人児童を対象とした検査も含め、具体的な日程は令和3年5月末頃公表予定)</p>

※詳細は決定次第、本校ウェブサイトでお知らせします。

求める児童像

- 季節の移ろいを五感で直に感じて自然の偉大さに感動したり、不思議に思ったりする子供
- 日本の伝統的な行事や地域の行事にふれて人々の営みやつながりを知る子供
- 絵本などの読み物や遊びを通じて想像したり、言葉を豊かにしたりする子供
- 積み木や折り紙など身の回りの多様な素材を使って形の面白さに気が付いたり、ものを形作ったりする子供
- 発見や気付きを大切に「なぜ、どうして」と問いかける子供
- 自分なりに答えを導こうと考え、行動する子供
- 人やものを自分のことのように大切にする子供



適性検査の出題方針等

【検査方法及び出題の方針】

適性検査問題(例)の
出題方針等について▶



【第1日】検査時間:45分

検査方法	大問	出題方針
筆記	①	物語を聞き、情報を整理しながら記憶して理解する力をみる。
	②	自然科学や日常の物事の関係性について理解する力をみる。
	③	数量や図形について理解する力をみる。
	④	論理的に物事を考える力をみる。
	⑤	指示された内容を正しく理解し、筆記用具等を使って取り組む力をみる。

【第2日】検査時間:45分

検査方法	出題方針
集団活動	人と関わる力、貢献する力、発想する力等をみる。
インタビュー	質問に正対して答える力をみる。
運動遊び	指示された内容を正しく理解し、複数の動きを組み合わせ、体を動かす力をみる。

【適性検査問題(例)】 ※全9問より一部抜粋

【解答用紙】問題内容を聞いて解答します。

②

③

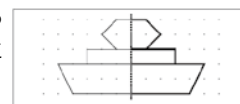
④

適性検査問題(例)▶

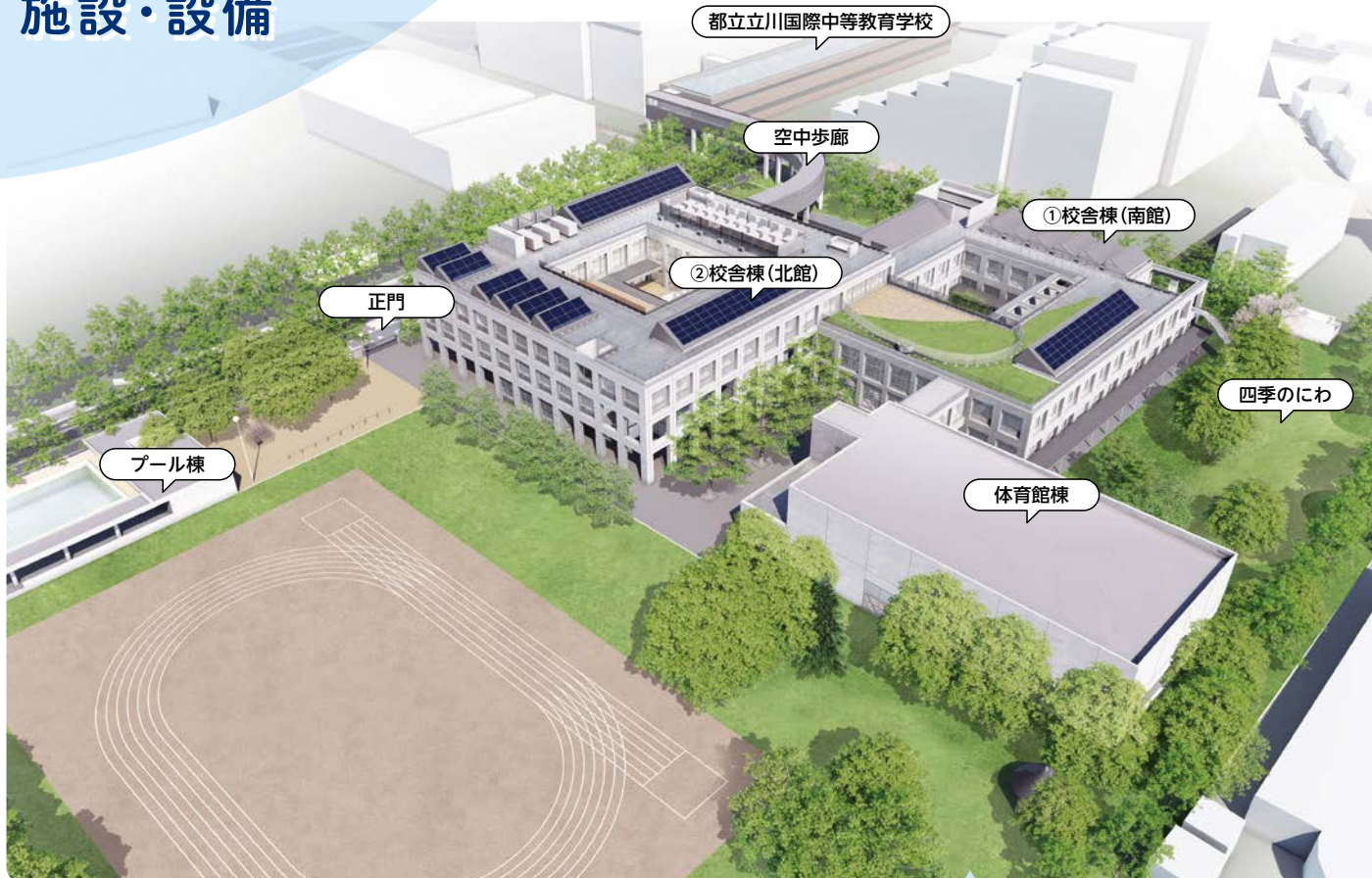


【問題内容と解答】

- ② 4枚の生き物の絵があります。ここに描かれている生き物でしりとりをすると、全部つながるようになっています。しりとりをすると最後になる生き物はどれですか。その生き物を大きく○で囲んでください。
- ③ 4本の線の中で、真っ直ぐな線に伸ばすと一番長い線はどれですか。線の横にある四角の中に○を描いてください。
- ④ (別紙を点線で折り、紙を透かして続きを描く練習をしてから問題に取り組む。)真ん中の点線で折った時に、左側の形と重なる形を考えて、点線の右側に描いてください。



施設・設備



- ①校舎棟(南館) 1階: 音楽室、家庭科室、ランチルーム 2階: 1～3年生教室、生活科室
- ②校舎棟(北館) 1階: 図工室、和室、保健室等 2階: ラーニング・コモンズ、理科室
- 3階: 4～6年生教室

※イラストはイメージです。
都立立川国際中等教育学校以外の施設は、令和4年夏頃竣工予定です(校庭を除く)。竣工までの間は仮設校舎を使用します。



〈アクセス〉

JR立川駅北口・多摩都市モノレール立川北駅より
12番乗場 立川バス「北町」行き
「立川国際中等教育学校」下車
(所要時間約12分)

〔小中高一貫教育校〕

東京都立立川国際中等教育学校附属小学校
建設予定地



※イラストはイメージです。

〔小中高一貫教育校〕

東京都立立川国際中等教育学校附属小学校

〒190-0012 東京都立川市曙町3-29-37

TEL: 042-519-3151 / FAX: 042-519-3161

URL: <http://www.12ikkan-j.metro.tokyo.jp/>

お問合せ



Vol.2 令和3年5月

編集・発行:〔小中高一貫教育校〕

東京都立立川国際中等教育学校
附属小学校